

与謝野晶子「与謝野晶子書簡」

昭和2（1927）年3月

28日

啓上けいじょう

忝かたじけなく奉存ぞんじたてまつり候。しかるに長

男が郊外にて病氣致し

をり候ため、その方へ参

りをり候へば、又々失礼

申上候。おゆるし願上候。

いつも御芳情の程を。

忝かたじけなく存じ申上候。

奥様へおよろしくお

伝へ被下度候。くだされたく 艸々。そうそう

与謝野晶子

三月二十八日

鶴見祐輔様

てもとに